

## 【事例 H26-03-09】青森県野辺地町

### 傾聴ボランティアスキルアップ事業・傾聴サロン開設 ＝ 自殺予防対策はまちづくり対策 ＝

傾聴ボランティアの資質向上やスキルアップをはかるため、傾聴スキルアップ研修会や傾聴サロンを開催した。研修会は県との共催で、対象者を町の傾聴ボランティアに限らず県内の傾聴の関係者に拡大し開催した。また、被災地支援を実施しているNPO法人に委託し、岩手県の東日本大震災の被災地にて研修を実施した。

【実施主体】青森県野辺地町

【大綱の分類】3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する⑨

【事業予算】平成 25 年度 1,588 千円 (1,588 千円)

【利 点】町民ボランティアによるポピュレーションアプローチを図る。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

- ・「自殺予防対策はまちづくり対策」と題し、「傾聴の理念の浸透」を掲げた。
- ・傾聴ボランティアの養成（平成 22～23 年）
- ・傾聴ボランティアとして活動（平成 24 年度）
- ・サロン利用者の孤立予防やメンタルヘルス向上を目的とする。

【計画を立てる上での工夫・等】・事前に講師と目的、内容を協議

【具体的な内容・実施の過程】

#### ① 傾聴スキルアップ研修会

- ・青森県との共催で、対象者を町の傾聴ボランティアに限らず県内の傾聴の関係者に拡大し開催
- ・平成 24 年度県世界自殺予防デーフォーラムの講師を招き、2 回シリーズを実技中心で行った。
- ・参加者は延べ 112 人。

#### ② 傾聴スキルアップ被災地研修

- ・被災地支援を実施している NPO 法人に委託し、岩手県の東日本大震災の被災地にて研修
- ・同内容で 3 回実施。
- ・延べ 11 人が参加。

#### ③ 傾聴サロン

- ・資質向上を狙うため毎回ボランティア自身の記録票を記入、終了後は従事者同士の分かち合いを実施。
- ・月 2 回 13 : 00～15 : 00 に開催。
- ・平成 25 年度の利用者は 42 人。ボランティアは延べ 172 人。

#### ④ 出張傾聴サロン

- ・町の中心部から遠方に位置する地区での高齢者の入浴事業にて、傾聴サロンを開催。
- ・特に外出が少なくなる冬期間に6回実施。

#### 【成果】

##### ①傾聴スキルアップ研修会

2回シリーズで行うことにより、参加者がより親密になり学習効果が向上した。

##### ②傾聴スキルアップ被災地研修

この研修がきっかけとなり、被災地への傾聴ボランティア活動を始めた参加者もいた。

##### ③傾聴サロン

利用者の中にはアルコール依存症治療中の方がおり、このサロンを利用することで断酒の継続が促される等の効果が出ている。

##### ④出張傾聴サロン

地区単位の行事等にも傾聴ボランティアが出席するなど、地域への活動の広がりが見られた。

#### 【補足】情報なし

#### 【課題】

「自殺予防対策はまちづくり対策」を推進するべく、町の理事者をはじめ町全体で取り組む姿勢を継続したい。

#### 【事業種別】人材養成事業

#### 【準備期間・人数】不明

#### 【予防段階】1次

#### 【自治体規模】14千人

#### 【自治体負担率】0%

#### 【事業対象】傾聴ボランティア養成講座の修了生

#### 【支援対象】傾聴ボランティア養成講座の修了生

#### 【実施主体・問合せ先】野辺地町役場健康づくり課

TEL : 0175-64-1770

FAX : 0175-64-8083

URL : <http://www.town.noheji.aomori.jp/>

#### 【参考資料・文献】情報なし